

## 貝毒に関する調査研究 (第XIII報)

— 最終報 —

岡村俊則 吉留吉弘\* 精松紘一郎

### 1 はじめに

我々は、1988年度より市場に流通することなく潮干狩り等で直接家庭に持ち帰られる貝類のうち、二枚貝を対象にその毒化状況を調査してきたが、2000年度をもって終了をすることになり、過去13年間にわたり行った、麻痺性貝毒及び下痢性貝毒の調査結果についてまとめた。

### 2 調査方法

#### 2.1 検体採捕地及び検体数

採捕期間：1988年～2001年 2月～7月にかけての潮干狩りの盛んな時期

採捕地：図1に示した県下33地点<sup>1)～12)</sup>

検体数：二枚貝202検体<sup>1)～12)</sup>

#### 2.2 検査方法

厚生省乳肉衛生課長通知(昭和55年7月1日付環乳第30号並びに昭和56年5月19日付環乳第37号)に基づく麻痺性貝毒及び下痢性貝毒検査法に従った。すなわち麻痺性貝毒及び下痢性貝毒とも可食部を試料として、得られた抽出液をd d Y系雄マウスの腹腔内に注射し毒量を求めた。

### 3 検査結果並びに考察

これまでの調査結果を採捕地点とともに表1、図1に示す。

麻痺性貝毒については、調査した全ての地点で規制値4.0MU/gを越える検出は確認されなかったが、これまで鹿児島湾奥において、1989年度に加治木町別府川河口で2.0MU/g、1991年度に垂水市牛根で2.0MU/g、1992年度に福山町福山港で3.7MU/g及び1998年度加治木町網掛川河口で2.1MU/g<sup>1)</sup>の検出があった。

下痢性貝毒については、調査した全ての地点で検出されなかった。

なお、麻痺性貝毒の1MUとは、体重20gのマウスを15分で死亡させる毒量、また下痢性貝毒の1MUとは、体重16g～20gのマウスを24時間で死亡させる毒量と定義されている。

麻痺性貝毒の原因生物である渦鞭毛藻は、耐久シストを作り海底に潜んでおり、一度貝毒が発生した水域では数年にわたり警戒が必要とされているが、本調査を行った地点においては、食品衛生上の規制値4.0MU/gを越える検出は確認されなかったため、2000年度をもって調査を終了した。しかし、毒化のパターンは水温、プランクトンの分布等複雑な要因を含んでいると言われており、突然の貝毒発生も十分考えられるため、今後は行政と連絡をとりながら対応していく予定である。

### 参 考 文 献

- 1) 田中俊英, 隈本 嵩他; 貝毒に関する調査研究(第1報), 鹿児島県衛生研究所報, 57(1989)
- 2) 原田 平, 隈本 嵩他; 貝毒に関する調査研究(第2報), 鹿児島県衛生研究所報, 70～71(1990)
- 3) 原田 平, 隈本 嵩他; 貝毒に関する調査研究(第3報), 鹿児島県衛生研究所報, 82～83(1991)
- 4) 原田 平, 隈本 嵩他; 貝毒に関する調査研究(第4報), 鹿児島県衛生研究所報, 73～74(1992)
- 5) 大原幸太郎, 溝口直隆他; 貝毒に関する調査研究(第5報), 鹿児島県衛生研究所報, 65～66(1993)
- 6) 大原幸太郎, 溝口直隆他; 貝毒に関する調査研究(第6報), 鹿児島県衛生研究所報, 60～61(1994)

- 7) 大原幸太郎, 溝口直隆他; 貝毒に関する調査研究(第7報), 鹿児島県衛生研究所報, 40~41(1995)
- 8) 大原幸太郎, 溝口直隆他; 貝毒に関する調査研究(第8報), 鹿児島県衛生研究所報, 34~35(1996)
- 9) 岡村俊則, 吉留吉弘他; 貝毒に関する調査研究(第9報), 鹿児島県衛生研究所報, 39~40(1997)
- 10) 岡村俊則, 吉留吉弘他; 貝毒に関する調査研究(第10報), 鹿児島県衛生研究所報, 43~44(1998)
- 11) 岡村俊則, 吉留吉弘他; 貝毒に関する調査研究(第11報), 鹿児島県衛生研究所報, 51~52(1999)
- 12) 岡村俊則, 吉留吉弘他; 貝毒に関する調査研究(第12報)鹿児島県環境保健センター所報, 79~80(2000)

表1 採捕地, 検体数及び検査数

地図番号	採捕地名	年度													採捕した主な貝名	合計	
		1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000			
1	給良町重富海岸								1						アサリ	1	
2	東町白瀬									1					カキ	1	
3	出水市米ノ津川河口				2	2	2	3	3	1	2	2	1	1	アサリ	19	
4	出水市福ノ江								1	1	2	1			アサリ・ハマカガイ	5	
5	内之浦町内之浦港							2		1	1	1	1	1	アサリ	7	
6	大崎町横瀬海岸	2	2	2											ナミコガイ	6	
7	鹿児島市七ツ島	2		3	3	2	2	2	2	3	2	1			アサリ	22	
8	笠沙町玉林											1			アサリ	1	
9	笠沙町野間池				2	2	2	2	2	1	1	1			アサリ・シオヤガイ	13	
10	笠利町手花部										1				アラスシケンマガイ	1	
11	笠利町喜瀬										3				リュウキュウアサリ	3	
12	加治木町網掛川河口			2					3	2	2				アサリ	9	
13	加治木町別府川河口	2			3	2	4	1	4	2			1	5	2	アサリ・ハマカガイ	26
14	加世田市小瀬	2	1													ハカガイ	3
15	草木野市五反田川河口	1	2	2												アサリ	5
16	草木野市羽島海岸								1	1	1	1				ヒメアサリ	4
17	里村貝池					1										カキ	1
18	志布志町安楽川河口								1	1	1	1				アサリ・ナミコガイ	4
19	志布志町夏井									1	1	1				アサリ	3
20	志布志町前川河口	3														カキ・イソシシミ	3
21	住用村市										1					ヒメアサリ	1
22	川内市川内川河口				2	2	1					1				オキアサリ・ハマカガイ	6
23	川内市川内川河口2km						2									ツキ貝	2
24	垂水市荒崎										1	1				アサリ	2
25	垂水市牛根	2	2	2												アサリ	6
26	垂水市宮崎小路											2	4	1		アサリ	7
27	長島町平吹										1	1	1	1		ムラサキガイ	3
28	長島町茅屋										1	2	1	1		アサリ	5
29	草人町浜之市		2													アサリ	2
30	草人町三島海岸							2				2				アサリ	4
31	吹上町中原		1	2												アサリ	3
32	福山町磯新堀					1						1	3	2		アサリ	6
33	福山町福山港						2	2	1	3						アサリ	9
	検体数合計	14	10	13	13	11	15	14	18	18	21	21	16	9		193	
	麻痺性貝毒検査数	14	12	13	16	14	15	14	18	18	21	22	16	9		202	
	下痢性貝毒検査数	4	6	6	6	5	6	5	5	2	8	9	5	0		67	
	検査数合計	18	18	19	22	19	21	19	23	20	29	31	21	9		269	

( ) 内は麻痺性貝毒の検出された件数を示す。

網掛けは麻痺性貝毒の検出されたことを示す。

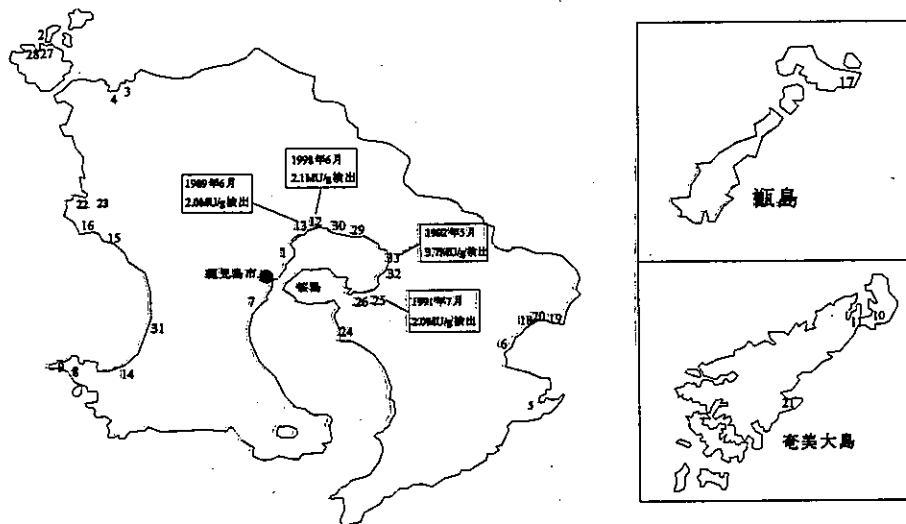


図1 貝採捕地点